止				健身	<b>長保</b>	険	被	扶礼	<b>\$</b> =	者(	異	動)	雷				常務理事	事務長	係員	係員	
令和	年	月	日提出				1			_ `		- <b>,</b> , ,	_								
ITTH	健康保険		II JÆLLI													L			日付印		
提出者記	事業所所在地															,					
記入欄	事業所名称																				
	事業主 氏 名 電話番号			(			)	0			社会	保険労務	士記載欄	氏名等					(F)		
	① 被保険者 証の番号		(	2 被保障	食者の氏				③ 生 ±	年月日	8	④ 性5	⑤ 異動の別	ij	年	6 資格取	得日月	⑦ 標準日	集報酬月額 千円		
被 保 険		氏		名			5.昭和 7.平成			#		月	1.男	1.追加 2.削除 (変更)							
者			® ₹	イナン <i>1</i>	<u>`</u>		<u> </u>	9 住	所	₹		-	-				都府	道 県			
			L = +	2.5.2				I			G M Pu	I @ 4+ 1+	60 Th alle	(15) 収入見込	<del></del>				,		
	フリカ・ナ	10 被	扶養者	の氏名			5.昭和	年_	月日	,日	12 性別	① 続柄	14 職業	(向こう1年間	)		(16)	マイナンバ		$\top$	
配 偶	氏		名				7.平成				2.女										
者 で	① 同居別 居の別 同居	18 郵 便	番号									19	住 所								
あ	別居	+					都道 府県														
ある被扶養	② 被扶養 <sup>3</sup> 年	者になった日 月	日口新	規			〕婚姻	20	被扶着	を者になっ	た理由 所得減少			その他			24 届	出(以前・以往	(を)の加入医療	₹ <b>保険者名</b>	
扶			□	籍			〕離職				雇用保険	受給終了		(			)				
養者	② 被扶養者	でなくなった日 月	日口死	亡( 生	F 月	目) □	〕離婚	② 衤	坡扶養	者でなくた	こった理由 後期高齢			□ その他				25 備	考		
			口就				] 収入増加							(			)				
	②6 被扶養者	でない配偶者	音を有する	るときに訂	己入してく	ださい。	配偶者の年間	即収入		<u> </u>			円				l e				
		② 被	扶養者	者の氏名					28 生年月日			② ③ ③ ③ □ ★ ② 収入見並 生別 続柄 ③ 職業 (向こう1年間			)	③ マイナンバー			_		
	34) 同居 別居の 別	被扶養者にな	はった日		(3	6 被扶養者	こなった理由	I		③ 被扶	養者でな	くなった日		38 被扶養者	者でなく	なった理	■由		39 備考		
	フリカ <sup>*</sup> ナ 氏		名				5.昭和 7.平成 9.令和	年	月		1.男										
	同居 別居	年 月		日日新	籍		□ 離職 □ 収入減 □ その他(備	去欄詳細記	3)	年		F F		年月日	B) 🗆	後期高	齢者				
7	フリカ・ナ			о ш.			5.昭和	年	月				L 40/4	7314	T	CONTENT	OU WILLIAM CO. HIL			$\overline{\Box}$	
その他	氏		名				7.平成 9.令和				1.男										
他の	同居	年 月		日口新			□離職			 年		I 月 日		年月 [							
被	別居						<ul><li>□ 収入減</li><li>□ その他(備</li></ul>	考欄詳細記	入)				□ 就職(	年月日 加			一齢者 備考欄詳細記	(入)			
の被扶養者	フリカ <sup>*</sup> ナ 氏		名				5.昭和 7.平成 9.令和	年	月		1.男										
	同居	年 月		日口新	規(入社)		□離職			年		 	口 死亡(	年月日	B) 🗆	別居					
	別居						□ 収入減□ その他(備						□ 就職(□ 収入増	加			齢者	入)			
	フリカ・ナ 氏		名				5.昭和 7.平成 9.令和	年	月		1.男										
	同居	年 月		日日新	籍		□ 離職 □ 収入減 □ その他(備	考欄詳細記	入)	年	<u> </u>	F E		年月 E 年月 E 加	<b>a</b> ) 🗆	後期高	齢者	入)	1	- 1	
	<u> </u>	1 1	1	1					1	1		1 1						ı			

扶·認非·課 退職 離職 喪証 直近3 見込 年金 雇·受雇·延 確申 契約 送金

認定 削除

令 和

住民票 戸籍 婚姻 母子 出生 学生証 在学 在留 証 高・受 理由書



# 健康保険 被扶養者 認定又は削除通知書

令和	年	月	日 提出																
	健康保険																		
	事業所記号																		
+=				に誤りがないことを確認し															
提	事業所		被保険者	から被扶養者の届出があ	らりましたので提出し	ます。													
世	所在地	₹	_																
者																			
出者記入	事業所																		
	名 称																		
欄	事業主				(P)														
	氏 名					社会	保険労務コ	L記載欄   B	名等										
	あせずり			,	`												<b>(FI)</b>		
	電話番号			(	)		]										(H)		
	① 被保険者 証の番号			②被保険者の氏名			③ 生 4	年月日		④ 性別	⑤ 異動の別	J	⑥ 資	格取得日	3	(	⑦ 標準報	報酬月	額
被		氏		名		5.昭和	年	J	1	1.男	1.追加		年_	月	1	日		- 	山土
被保険者					(F)						2.削除								ļ
险						7.平成				2.女	(変更)								
火			⑧マ	イナンバー			₹	1			1			都道	<u> </u>				
19						9 住 所								府県					
		① 被	扶養者	の氏名	(1	①生年月日	•	12 性別	③ 続 柄	14) 職業	(り収入見込(向こう1年間)			(16) マ /	イナンノ	<b>ч</b>			_
	フリカ・ナ	0				年 月	日		0	0 11111	(向こり平面)			Ť					_
配	氏		名		5.昭和			1.男											
偶					7.平成			2.女											
者	① 同居別 居の別	18 郵 便	番号						(19)	住 所	1					-			
゠゙	同居				都道														
ぁ	別居	1 †			府県														
る		者になった日				② 被扶	養者になっ	た理由						24 届出(	以前·以	後)の加	入医療	保険者:	名
被	年	. 月	∃□新	規	□ 婚姻		□ 所得減少				その他								
扶			□転	籍	□離職		П	雇用保険	受給終了	(			)						
者である被扶養	② 被扶養者	でなくなった日	- 1-		_ ,,	② 被扶着	養者でなくた						25 備 考						
者	年		ョロ 死	亡(年月日	) □ 離婚	O 10/2/2		後期高齢		П	その他								_
								54771-721-											
			口就	職(年月日	) 口 収入増加					(			)						
	© 被扶養者でない配偶者を有するときに記入してください。 配偶者の年間収入 円																		
																			$\overline{}$
		(27) 3de	仕券去	O E 9		⑩ 仕年日口		29	30		② 収入見込			m =	· /+`	-			
	72A R.R.I	②被	扶養者	の氏名		28 生年月日		29 性別	③0 続柄	③ 職業	② 収入見込 (向こう1年間)			③ ₹	イナンバ	<b>-</b>			
		②被決後者にな		1	大養者になった理由	②8 生年月日	③ 被扶	性別			② 収入見込 (向こう1年間) (38) 被扶養者	1	た理由	③ ₹	イナンバ		備考		
	別居の ③ 別			1	大養者になった理由 ・			性別	続柄		(向こう1年間)	1	た理由	③ ₹	イナンバ		備考		
	別居の ③ 別 フリカ・ナ		いた日	1	大養者になった理由 5昭和	28 生年月日	③ 被扶	性別	続柄		(向こう1年間)	1	た理由	(3) <del>-</del>	イナンバ		備考		
	別居の ③ 別			1	夫養者になった理由 5-昭和 7-平成			養者でな	続柄		(向こう1年間)	1	った理由	33 マ	'イナン/'		備考		
	別居の ③ 別 フリカ・ナ	) 被扶養者にな	わた日名	③ 被扫	夫養者になった理由 5 昭和 7.平成 9.令和		B	性別 養者でな 1.男 2.女	続柄 くなった日	③ 職業	(向こう1年間) ③ 被扶養者	でなくなっ		(§) <b>v</b>	イナンバ		備考		
	別居の ③ 別 フリカ・ナ		わた日名	動 被打  新規(入社)	夫養者になった理由 5.昭和 7.平成 9.令和			性別 養者でな 1.男 2.女	続柄 くなった日	③ 職業	(向こう1年間) ③ 被扶養者 年 月 E	きでなくなっ 1) □ 別	居		イナンバ		備考		
	別居の 別 フリカ・ナ 氏	) 被扶養者にな	わた日名	<ul><li>動 被打</li><li> 新規(入社)</li><li>□ 転籍</li></ul>	夫養者になった理由 5-昭和 7.平成 9.令和	年 月	B	性別 養者でな 1.男 2.女	続柄 くなった日	③ 職業 □ 死亡( □ 就職(	(向こう1年間) ③ 被扶養者 年月日 年月日	きでなくなっ 3) □ 別 3) □ 後	居期高齢者		77721		備考		
	別居の 別 フリカ・ナ 氏	) 被扶養者にな	わた日名	動 被打  新規(入社)	夫養者になった理由 5.昭和 7.平成 9.令和	年 月	年	性別 養者でな 1.男 2.女	続柄 くなった日	③ 職業	(向こう1年間) ③ 被扶養者 年月日 年月日	きでなくなっ 3) □ 別 3) □ 後	居期高齢者		'(1+v)		→備考		
7	別居の 別 フリカ・ナ 氏	) 被扶養者にな	わた日名	<ul><li>動 被抗</li><li> 新規(入社)</li><li>□ 転籍</li></ul>	夫養者になった理由 5-昭和 7.平成 9.令和	年 月	B	性別 養者でな 1.男 2.女	続柄 くなった日	③ 職業 □ 死亡( □ 就職(	(向こう1年間) ③ 被扶養者 年月日 年月日	きでなくなっ 3) □ 別 3) □ 後	居期高齢者		(4+v)		備考		
その	別居の 別 フリカ・ナ 氏 同居 別居	) 被扶養者にな	わた日名	<ul><li>動 被抗</li><li> 新規(入社)</li><li>□ 転籍</li></ul>	大養者になった理由	年 月	年	性別 養者でな 1.男 2.女	続柄 くなった日	③ 職業 □ 死亡( □ 就職(	(向こう1年間) ③ 被扶養者 年月日 年月日	きでなくなっ 3) □ 別 3) □ 後	居期高齢者		(17+v)		備考		
Ď	別居の 別 フリがナ 氏 同居 別居	等を表す。 年 月	名名名	□ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生	大養者になった理由	年 月	年日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	性別 養者でな 1.男 2.女 1.男 2.女	続柄 人なった日	① 職業 □ 死亡( □ 就職( □ 収入増加	(向こう1年間) ③ 被扶養者 年 月 E 年 月 E	きでなくなっ	居期高齢者 20他(備考権		(1/1+v)		(備考		
の他	別居の 別 フリが ナ 氏 同居 ・ 別居	) 被扶養者にな	名名名	<ul><li>動 被抗</li><li> 新規(入社)</li><li>□ 転籍</li></ul>	大養者になった理由	年 月	年	性別 養者でな 1.男 2.女 1.男 2.女	続柄 人なった日	③ 職業 □ 死亡( □ 就職(	(向こう1年間) ③ 被扶養者 年 月 E 年 月 E	きでなくなっ	居期高齢者 20他(備考権		(1/1+v)		( ) 備考		
の他	別居の 別フリカナ 氏 同居 別居 フリカナ 氏	等を表す。 年 月	名名名	□ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生	大養者になった理由	年 月	年日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	性別 養者でな 1.男 2.女 1.男 2.女	長柄 人なった日 日 日	① 職業 □ 死亡( □ 就職( □ 収入増加	(向にう)年間 ③ 被扶養者 年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	fでなくなっ 33) □ 別 0 その	居期高齢者 ()他(備考相	開詳細記入)	(17)		前考		
の他	別居の 別 フリが ナ 氏 同居 ・ 別居	等を表す。 年 月	名名名	□ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 新規(入社)	大養者になった理由	年 月	年日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日	性別 養者でな 1.男 2.女 1.男 2.女	長柄 人なった日 日 日	① 職業  □ 死亡( □ 就職( □ 収入増加	(向にう) 年間 ③ 被扶養者 年 年 月 日 年 年 月 日 年 年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	手でなくなっ 33) □ 別 0 そ0 13) □ 後 13) □ 後	居期高齡者和	開詳細記入)	(1+2)		備考		
の他	別居の 別フリカナ 氏 同居 別居 フリカナ 氏	等を表す。 年 月	名名名	□ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 新規(入社)	大養者になった理由	年 月	年	性別 養者でな 1.男 2.女 1.男 2.女	長柄 人なった日 日 日	① 職業  □ 死亡( □ 就職( □ 収入増加	(向にう) 年間 ③ 被扶養者 年 年 月 日 年 年 月 日 年 年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	手でなくなっ 33) □ 別 0 そ0 13) □ 後 13) □ 後	居期高齡者和	<b>非細記入)</b>	(17+2)		備考		
の他	別居の 別 フリがナ 氏 同居 別居 フリかナ 氏	等を表す。 年 月	名名名	□ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 新規(入社)	大養者になった理由	年 月 解詳細記入)	年	性別 養者でな 1.男 2.女 1.男 2.女	長柄 人なった日 日 日	① 職業  □ 死亡( □ 就職( □ 収入増加	(向にう) 年間 ③ 被扶養者 年 年 月 日 年 年 月 日 年 年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	手でなくなっ 33) □ 別 0 そ0 13) □ 後 13) □ 後	居期高齡者和	<b>非細記入)</b>	11721		備考		
Ď	別居の 別 フリがナ 氏 同居 別居 フリかナ 氏	等を表す。 年 月	ionた日 名 名 名	□ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 新規(入社)	大養者になった理由	年 月 解詳細記入)	年	性別 養者でな 1.男 2.女 1.男 2.女	長柄 人なった日 日 日	① 職業  □ 死亡( □ 就職( □ 収入増加	(向にう) 年間 ③ 被扶養者 年 年 月 日 年 年 月 日 年 年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	手でなくなっ 33) □ 別 0 そ0 13) □ 後 13) □ 後	居期高齡者和	<b>非細記入)</b>			備考		
の他	別居の 別フリカナ 氏 同居・別居 フリカナ 氏	等を表す。 年 月	名名	□ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 新規(入社)	大養者になった理由	年 月 解詳細記入)	年	性別 養者でな 1.男 2.女 1.男 2.女	様柄	① 職業  □ 死亡( □ 就職( □ 収入増加	(向にう)年間 強 被 扶養者 年 年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	育でなくなっ (1) 別 (2) 日 (3) 日 (4) 日 (5) 日 (6) 日 (7) 日 (7) 日 (7) 日 (8) 日 (9) 日	居期高齡者即他備考相居高齡者即他備考相	<b>非細記入)</b>			備考		
の他	別居の 別フリカナ 氏 同居 別居 フリカナ 氏	年 月	名名	(%) 被打 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) (	大養者になった理由	年 月 解詳細記入)	年	性別 養者でな 1.男 2.女 1.男 2.女 1.男 2.女	様柄	① 職業      死亡(	(向にう)年間 激被扶養者 年年月 日 年年月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	育でなくなっ (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	居期高齡者即他備考相	(計組記入) (計組記入)			備考		
の他	別居の 別フリカナ 氏 同居・別居 フリカナ 氏	年 月	名名	□ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生	大養者になった理由	年 月   月	年	性別 養者でな 1.男 2.女 1.男 2.女 1.男 2.女	様柄	① 職業	(向にう)年間 激被扶養者 年年 年年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	育でなくなっ (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	居期高齡者相別他(備考相)	(計組記入) (計組記入)			備考		
の他	別居の 別フリカナ 氏 同居 別居 フリカナ 氏 同居 別居	年 月	名名	□ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生	大養者になった理由	年 月   月	年	性別 養者でな 1.男 2.女 1.男 2.女 1.男 2.女	様柄	① 職業	(向にう)年間 激被扶養者 年年 年年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	育でなくなっ (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	居期高齡者相別他(備考相)	高詳細記入) 高詳細記入)			備考		
の他	別居の 別フリカナ 氏 同居 別居 フリカナ 氏 同居 別居 フリカナ 氏	年 月	ネッカル日 名 名 名 名	田 □ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 計規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 日 □ 計規(入社) □ 転	大養者になった理由	年 月	年	性別 養者でな 1.男 2.女 1.男 2.女 1.男 2.女	様柄	① 職業	(向にう)年間 激被扶養者 年年 年年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	育でなくなっ (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	居期高齡者相別他(備考相)	高詳細記入) 高詳細記入)			備考		
の他	別居の 別フリカナ 氏 同居 別居 フリカナ 氏 同居 別居	年 月	名名	田 □ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 計規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 日 □ 計規(入社) □ 転	大養者になった理由	年 月	年	性別 養者でな 1.男 2.女 1.男 2.女	様柄	① 職業	(向にう)年間 激被扶養者 年年 年年 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	育でなくなっ (1) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	居期高齡者相別他(備考相)	高詳細記入) 高詳細記入)			備考		
の他	別居の 別フリカナ 氏 同居 別居 フリカナ 氏 同居 別居 フリカナ 氏 同居 別居 フリカナ	年 月 年 月	まった日 名 名 名 名 名 名	日 □ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 計規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 計規(入社) □ 転籍 □ 出生	大養者になった理由	年 月	年	性別 養者でな 1.男 2.女 1.男 2.女 1.男 2.女	様柄 くなった日	① 職業	(向にう)年間 教養者 中年 年年 中年 年年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	育でなくなっ (1) 別後 (1) 日 (2) 日 (3) 日 (4) 日 (5) 日 (6) 日 (7) 日 (7) 日 (7) 日 (8) 日 (9) 日	居期高齡者相別他(備考相居) 是期高齡者相關 居	高詳細記入) 高詳細記入)			備考		
の他	別居の 別フリカナ 氏 同居 別居 フリカナ 氏 同居 別居 フリカナ 氏	年 月	まった日 名 名 名 名 名 名	□ 新規(入社) □ 転籍 □ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 新規(入社) □ 転籍	大養者になった理由	年 月	年	性別 養者でな 1.男 2.女 1.男 2.女 1.男 2.女	様柄 くなった日	① 職業	(の)	計でなくなっ 計でなくなっ 引)	居期 高齢者相 用 高齢者相 用 別 他 (備考相 用 ) 他 (備考相 用 ) 他 (	高詳細記入) 用詳細記入)			備考		
の他	別居の 別フリカナ 氏 同居 別居 フリカナ 氏 同居 別居 フリカナ 氏 同居 別居 フリカナ	年 月 年 月	まった日 名 名 名 名 名 名	□ 新規(入社) □ 転籍 □ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 新規(入社) □ 転籍	大養者になった理由	年 月	年	性別 養者でな 1.男 2.女 1.男 2.女 1.男 2.女	様柄 くなった日	① 職業	(a) おおお (a) 本年 (a) 本年 (b) 本年 (c) 本年	育でなくなっ (1) 別後 (2) 別後 (3) 日 (3) 日 (4) 日	居期 他 居期 他 居期 他 居馬 齡者	高詳細記入) 高詳細記入)			備考		
の他	別居の 別 7リカナ 氏 同居 居 別 7リカナ 氏 同居 居 別 7リカナ	年 月 年 月	まった日 名 名 名 名 名 名	□ 新規(入社) □ 転籍 □ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 新規(入社) □ 転籍	大養者になった理由	年 月	年	性別 養者でな 1.男 2.女 1.男 2.女 1.男 2.女	様柄 くなった日	① 職業	(a) おおお (a) 本年 (a) 本年 (b) 本年 (c) 本年	育でなくなっ (1) 別後 (2) 別後 (3) 日 (3) 日 (4) 日	居期 他 居期 他 居期 他 居馬 齡者	高詳細記入) 用詳細記入)			備考		
の他	別居の 別 7リカナ 氏 同居 居 別 7リカナ 氏 同居 居 別 7リカナ	年 月 年 月	まった日 名 名 名 名 名 名	□ 新規(入社) □ 転籍 □ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 新規(入社) □ 転籍 □ 出生 □ 新規(入社) □ 転籍	大養者になった理由	年 月	年	性別 養者でな 1.男 2.女 1.男 2.女 1.男 2.女	様柄 くなった日	① 職業	(a) おおお (a) 本年 (a) 本年 (b) 本年 (c) 本年	育でなくなっ (1) 別後 (2) 別後 (3) 日 (3) 日 (4) 日	居期 他 居期 他 居期 他 居馬 齡者	高詳細記入) 高詳細記入)			備考		

認定 削除 令 和 年 月 日
-----------------

上記のとおり認定/削除になりましたので通知いたします。

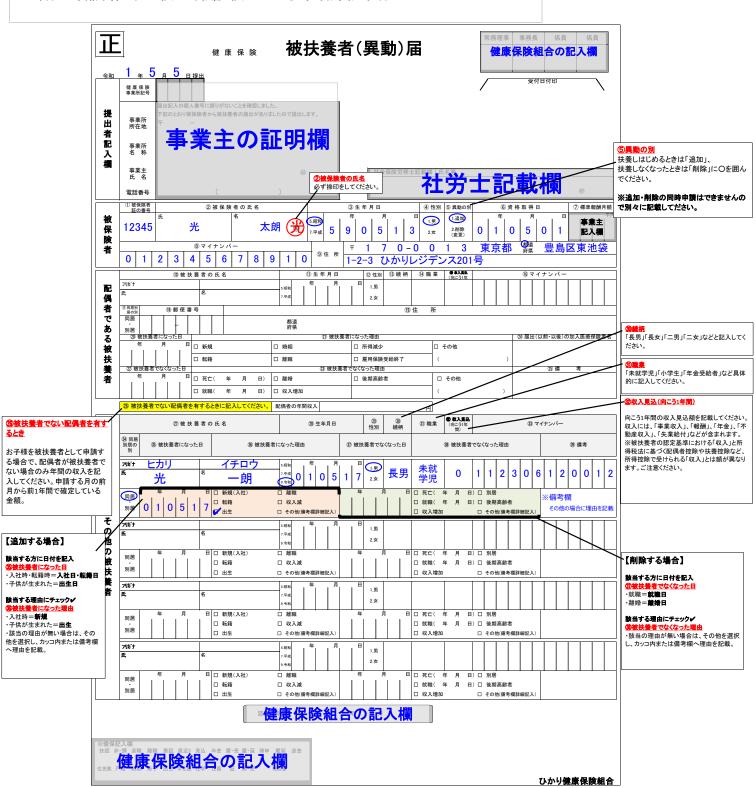
- (付記) 1.この通知書は事業主が健康保険施行規則第34条により、完結の日から2ヶ年間保存しておかなければなりません。 2.この通知書が被保険者の届出た事項と相違するときは、すみやかにそのことを被保険者に通知してください。

# ひかり健康保険組合「健康保険被扶養者(異動)届」

【記入例】1,2枚目

## 【記入上の注意】

- ■黒のボールペンを使用し、楷書ではっきり記入してください。 鉛筆、修正テープ、消えるボールペンは使用しないでください。
- ■記入内容を訂正する場合は、間違えた部分に二重線を引きご本人の印鑑を押してください。
- ■生年月日や資格取得日などの記入は、和暦で記入してください。 例)令和1年5月1日 ⇒ 010501



### 令和2年分 給与所得者の扶養控除等(異動)申告書

175.5	所轄税務署長等					10 11 2	- 1 75	(	フリガー	+)					あなたの生年月	n 明·大·昭	年	月 日	$\overline{}$	
PJT	<b> B C C C C C C C C C C</b>		与の支												めなたの土十万	口 平 · 令	73 11	従たる給与につ		
		0)	名称(	氏名)					あなたの氏名						世帯主の氏名	名			いての扶養控除 等申告書の提出	
	*****************************	給 与 の 支 払 者 **この申告書の提出を受けた給与の支払者が記載してください。																	/提出している場合 \	
<u> </u>	税務署長		去人(個)						なたの個人	. 番号					あなたとの統権	19			には、○印を付け てください。	
		24	与のさ	打艺					ちなたの信	:所 (郵便	番号	- :				,	配偶者			
l	+12 m++ E	給 与 の 支 払 者     の所在地(住所)								所							の有無	有・無		
<u>_</u>	市区町村長				기리_	. 开 針 和 佴	<b>李乃78</b> 壮盖朝故	がなく かつ	あかか F	自動が陰生き	子 實場 實	キマル 勤労	学生のい	ずわに	太該当1 か	い場合には	以下の各欄に	記入する必	要はありません。	
09/3	いたに原来住所入	了家田	门内有小	早古有に該ヨリ	9 HJ					人扶養親族				7 4010	O DX S C C C	THE IST	N I WILLIAM	1000 000 000	S 2 40 50	
	区分等		(フリガナ)			個 人 番 号		号	(1	<b>昭26.1.1以前生</b> )	令 和 所 得	2 年中の 見積	ń	住	所 又	は	引 所	100000000000000000000000000000000000000	日及び事由	
	区ガサ	Đ	E	名	あ	なたとの続	柄 生 4	F 月 日	(平10	定 扶 養 親 族 ).1.2生~平14.1.1	非居住者 である親族	生計を一にする事実		1.1.	<i>//</i> 1 /	100 /	4 /21	に記載して	に異動があった場合) ださい(以下同じ。)。)	
						2000 A GB		e e e	(11	.1.2 1 14.1.1.	LI Cas a section	7 5 47 %								
	源 泉 控 除 A 対象配偶者	_			-	1 1 1	1111	111	r				円							
	A 对象配偶者 (注1)						明·大													
	(/1/				-		昭·平			同居老親等						-				
		<u>,</u>  -			$\dashv$	T T T	1111	1 1 1		内所名称がその他			円							
+		+					明·大			特定扶養親加										
主たる	70	<u> </u>			+		昭・平				-							-		
る給		_			-	T 1 T	Titt	1 1 1		同居老親等 その他			Щ							
与	控除対象						明·大			特定扶養親加	ē.									
か	B扶養親族	$\vdash$			-		昭・平				<u> </u>									
ら地	(16歳以上) (平17.1.1以前生)	اړ⊢			-	T T I	1 1 1 1	1 1 1		同居老親等その他			円							
除		3					明·大			特定扶養親族	E									
を		-			_		昭・平				+				_					
控除を受ける		I,⊢			-	T 1 T	1111	Î î i		同居老親等その他			Щ							
る		4					明·大			特定扶養親加	E							1		
							昭・平	27 16		200 E 2		STATILE ILL	est atrices	FO STA	D) =	Charles I m (n) & b	5# + 7.2*V \	EU 164 F	日及び事由	
			第四十		本	人间一	生 計 扶養親族	] _ ÿ	如	記の内	谷(この欄の	記載に当たっ	しば、製画の	2	以についてのこ	注意」の(8)をお	試みください。)	共驯力	日及び事田	
			区刀			EL PA		- Attribution	<b>.</b> #≡1											
	障害者、寡			一般の障害者			( )	□ 特別の寡	5年											
	C 婦、寡夫又は 勤 労 学 生			特別障害者			( )	□ 寡	夫		Late was all the state of	<b>=</b> (0.100	*** o T ''	n El se est		n I to Milabet 1	L#81+ 1-+7X	7/11/24/25/25/25	東京学士に ていたの	
	3/ // -		İ	同居特別障害者			( )	□勤労学								95万円以下の人		C偶省(育巴拳)	<b>専従者として給与の</b>	
	1	2.4.44.4.4.4			付け、( )内には該当する扶養親族の人数を記入してくださ					2 同一生計配偶者とは、所得者と生計を一にする配偶者(青色事業専従者として給与の支払を受ける人及び白色事業専従者を除きます。)で、令和2年中で 所得の見積額が48万円以下の人をいいます。										
$\succ$		E	以当りる場	ロスの隔にアエックを	200		1 つん正規状の人気で	T				~ X & V . V . E 9 .		に除た	受ける1	也の所得	去	0000 NO 100		
	供の配担本が		氏	名	あなた 統	:との  <u>/</u> 柄	生 年 月 日	[ f	主所	又は	舌 亦				あなたとの続柄		は居所	異動月	日及び事由	
D	他の所得者が 控除を受ける					明・大	: 昭													
٦	扶養親族等					明・大												-		
l						平・食														
Of	主民税に関する	事項(	この欄は	は、地方税法第45	条の3	の2及び第	317条の3の2に	基づき、給与の	の支払者を	経由して市団	区町村長に提	出する給与所	所得者の扶着	養親族等	申告書の記載	成欄を兼ねて	ハます。)			
ت				リガナ)		個	人 番	号	あなたとり	)			所 又		10 1000		令和2年中の 所得の見積割	異動月	日及び事由	
	16等土港の		氏	名		164	/ III		統析	平	H	11.		7.	- 4/1	<b>日外</b> 大変親族				
	16歳未満の 扶 養 親 族	1-								6	•					-	H.			
100000	17.1.2以後生)	2-			-					令 .							P	I .		
l		3-			I I	1 1 1	1 1 1	1 1 1		平。	•						Р	J	1	
	A 10 44 44 44	_ #	を当する	場合には左記に	児童	扶養手当			生計を一	-にする		友記の場	世童の			異動月日				
Ų <sup>♯</sup>	身児童扶養者			付けてください。		の番号			児童の				左令所のり	も精瀬			及び事由			

扶

◎この申告書の記載に当たっては、裏面の「申告についてのご注意」等をお読みください。◎この申告書は、2か所以上から給与の支払を受けている場合には、そのうちの1か所にしか提出することができません。必要があります。◎この申告書は、源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族に該当する人がいない人も提出する◎この申告書は、あなたの給与について扶養控除、障害者控除などの控除を受けるために提出するものです。

### 1 申告についてのご注意

- (1) この申告書は、令和2年の最初の給与の支払を受ける日の前日までに、給与の支払者に提出してください。
- (2) この申告書の提出後、記載内容に異動があったときは、別に異動申告書を提出するか、あるいはこの申告書の該当項目を異動 後の内容に補正してください。
- (3) 年の中途で就職した人で前職のある人は、前の勤務先から交付を受けた源泉徴収票などを、また、年の中途で従たる給与を主たる給与に変更した人は、変更前の主たる給与の支払者から交付を受けた源泉徴収票などを添付してください。
- (4) 2か所以上から給与の支払を受け、1か所から受ける給与だけでは源泉控除対象配偶者について控除を受ける配偶者(特別) 控除や扶養控除、障害者等の控除の全額が控除しきれない場合には、源泉控除対象配偶者や控除対象扶養親族を分けて他の給与 の支払者に「従たる給与についての扶養控除等申告書」を提出することができます。
- (5) 年末調整において、基礎控除又は配偶者(特別) 控除の適用を受ける場合には、所要の事項を記載した「基礎控除申告書」又は「配偶者控除等申告書」を作成し、令和2年の最後の給与の支払を受ける日の前日までに給与の支払者に提出する必要があります。(6) 以下に掲げる親族が非居住者(注1) である場合には、その親族に係る「親族関係書類」(注2) をこの申告書に添付してください。
- イ 扶養控除又は障害者控除の適用を受ける扶養親族
- ロ 源泉控除対象配偶者である配偶者
- ハ 障害者控除の適用を受ける同一生計配偶者

また、年末調整において、上記のイ又はハに該当する親族について扶養控除又は障害者控除の適用を受ける場合には、令和2年の最後の給与の支払を受ける日の前日までに、その親族と生計を一にする事実(送金衛等)を記載した扶養控除等申告書を別途作成し、「送金関係等類」に第一を添付した上で提出するか、あるいはこの申告事の「生計を一にする事実」相又は「元記の内容」欄に送金額等を追記し、「送金関係書類」を添付した上で提出してください(上記の口に該当する配偶者について配偶者(特別)控除の適用を受ける場合には、その配偶者と生計を一にする事実を記載した「配偶者控除等申告書」に「送金関係書類」を添付し提出する必要があります。)。

- なお、「親族関係普類」又は「送金関係書類」が外国語により作成されている場合には、訳文も添付する必要があります。
- (注) 1 「非居住者」とは、国内に住所を有せず、かつ、現在まで引き続いて1年以上国内に居所を有しない個人をいいます。
- 2 「親族関係書類」とは、次の①又は②のいずれかの書類で、その非居住者があなたの親族であることを証するものをいいます。
- ① 戸籍の附票の写しその他の国又は地方公共団体が発行した書類及びその親族の旅券(パスポート)の写し
- ① 戸籍の特票の与しその他の国文は地方公共団体が発行した普須及びその栽族の旅祭(ハスポート)の与し ② 外国政府又は外国の地方公共団体が発行した普類(その親族の氏名、生年月日及び住所又は屋所の記載があるもの に限ります。)
- 3 「送金関係書類」とは、次の書類であなたがその非居住者である親族の生活費又は教育費に充てるための支払を、必要の都度、各人に行ったことを明らかにするものをいいます。
- ① 金融機関の普類又はその写しで、その金融機関が行う為替取引によりあなたからその親族に支払をしたことを明らかにする書類
- ② いわゆるクレジットカード発行会社の書類又はその写して、そのクレジットカード発行会社が交付したカードを提示してその親族が商品等を購入したこと等及びその商品等の購入等の代金に相当する額をあなたから受領したことを明らかにする書類

### 2 記載についてのご注意

- (1) 「あなたの個人番号」及び「個人番号」欄には、それぞれ、あなた、源泉控除対象配偶者、控除対象扶養親族又は年齢16歳未 満の扶養親族の個人番号を記載する必要がありますが、一定の要件の下、個人番号の記載を要しない場合がありますので、給与 の支払者に確認してください。
- (2) 「給与の支払者の法人(個人)番号」欄には、この申告書を受理した給与の支払者が、給与の支払者の法人番号又は個人番号を記載してください。
- (3) 「主たる給与」とは、この申告書を提出した給与の支払者から受ける給与をいい、「従たる給与」とは、それ以外の給与の支払 者から受ける給与といいます。
- (4) 控除対象扶養親族が同居老親等である場合には、「老人扶養親族」欄の「同居老親等」に、同居老親等以外の老人扶養親族であるときは「その他」にチェックを付けてください。
- また、控除対象扶養親族が特定扶養親族である場合には、「特定扶養親族」欄にチェックを付けてください。
- (5) 「令和2年中の所得の見積額」欄には、収入金額等から必要経費等を差し引いた金額を記入してください。この場合、所得の種類が給与である場合には、収入金額から給与所得控除額(例えば収入金額が161万9千円未満の場合には55万円(収入金額を限度とします。))を差し引いた金額が給与の所得の金額となります。
- なお、非課税とされる遺族年金などの所得、源泉分離課税が適用される利子、確定申告をしないことを選択した上場株式等の配当等などについては、配偶者 (特別) 控除や扶養控除の判定の基礎となる所得には含まれません。
- (6) 源泉控除対象配偶者又は控除対象扶養親族が非居住者である場合には、「非居住者である親族」欄に〇印を付けてください。
- (7) 「生計を一にする事実」欄には、控除対象扶養親族が非居住者である場合に、年末調整時に、令和2年中にその親族に送金等を した金額の合計額を記載してください。
- (8) 「左記の内容」欄には、それぞれ次の事項を記載してください。
  - イ 障害者 (特別障害者) ……障害の状態又は交付を受けている手帳などの種類と交付年月口、障害の程度 (障害の等級) などの障害者 (特別障害者) に該当する事実。その人が同一生計配餌者又は扶養親族の場合には、併せてその人の氏名 (特別障害 名であるときは同居の有無)、個人香沙 塩、住所又は居所、生年月日、あなたとの総积及び令和2年中の所得の見積額 (これらの事項のうち [源泉控除対象配偶者] 欄、 「控除対象扶養親族」欄又は「住民税に関する事項」の「16 歳未満の扶養親族(平171.2 以後生)」欄に記載している事項については、氏名を除き、記載を省略できます。)
  - また、当該同一生計配偶者又は扶養親族が非居住者である場合には、その旨及び令和2年中にその同一生計配偶者又は扶養 親族に送金等をした金額の合計額(送金等をした金額の合計額は、年末調整時に記載)
  - (注) 一定の要件の下、個人番号の記載を要しない場合がありますので、給与の支払者に確認してください。

  - ハ 勧労学生……学校名と入学年月日及び令和2年中の所得の種類とその見積額
- (9) あなたの同一生計内に所得者が2人以上いるときは、あなたの扶養親族等(控除対象配偶者、控除対象扶養親族又は障害者である同・生計配偶者若しくは年齢16歳未満の扶養親族をいいます。)を他の所得者の扶養親族等としたり、また、その生計内の扶養親族等を分けて控除を受けたりすることができます。このような場合には、その扶養親族等の氏名などを「D」欄に記載してください。
- (0) 「住民税に関する事項」の「16 歳未満の扶養親族」欄には、扶養親族のうち年齢 16 歳未満の人 (平成 17 年 1 月2 日以後に生まれた人) について記載してください。なお、その人が控除対象外国外扶養親族(国内に住所を有しない扶養親族のうち、年齢 16 歳未満の人をいいます。)である場合には、「控除対象外国外扶養親族」欄に〇印を付けてください。また、この欄に〇印を付けた人は、親族関係背類及び送金関係背類を令和 3 年 3 月 15 日までに住所所在地の市区町村に提出しなければならない場合があります。
- (I) 「単身児流扶養者」欄には、単身児流扶養者に該当する場合にチェックを付け、児流扶養手当証書の番号、生計を一にする児流 全員の氏名及び令和2年中の所得の見積額を記載してください(これらの事項のうち「控除対象扶養親族」欄又は「16 歳未満の扶養親

| 族||欄に記載している事項については、児童扶養手当証書の番号及び児童の氏名を除き、記載を省略できます。)。

(注)「住民税に関する事項」について、ご不明な点などがありましたら、お住まいの市区町村へお尋ねください。

### 3 扶養親族等の範囲

【①同一生計配偶者】 所得者(この申告書を提出する人をいいます。)と生計を一にする配偶者(青色事業専従者として給与の支払を受ける人及び白色事業専従者を除きます。)で、令和2年中の所得の見積額が48万円以下(給与所得だけの場合は、給与の収入金額が103万円以下)の人

【②控除対象配偶者】 ①の同一生計配偶者のうち、令和2年中の所得の見積額が1,000 万円以下である所得者の配銀者

[③源泉控除対象配偶者] 所得者(令和2年中の所得の見積額が990万円以下の人に限ります。)と生計を一にする配偶者(背色事業専従者として給与の支払を受ける人及び白色事業専従者を除きます。)で、令和2年中の所得の見積額が95万円以下(給与所得だけの場合は、給与の収入金額が150万円以下)の人

(注) 夫婦の双方がお互いに源泉徴収における源泉控除対象配偶者に係る控除の適用を受けることはできませんので、ご注意ください。

【**④扶養親族**】 所得者と生計を一にする親族(配偶者、青色事業専従者として給与の支払を受ける人及び白色事業専従者を除きます。)、児童福祉法の規定による里子又は老人福祉法の規定による養護老人で、令和2年中の所得の見税額が48万円以下の人

【③控除対象扶養親族】 ④の扶強親族のうち、年齢 16 歳以上の人(平成 17 年 1 月 1 日以前に生まれた人)

[⑥特定扶養親族] ⑤の控除対象扶養親族のうち、年齢 19 歳以上 23 歳未満の人(平成 10 年 1 月 2 日から平成 14 年 1 月 1 日までの間に生まれた人)

【⑦老人扶養親族】 ⑤の控除対象扶養親族のうち、年齢70歳以上の人(昭和26年1月1日以前に生まれた人)

[**③同居老親等**] ⑦の老人扶養親族のうち、所得者又はその配偶者の直系尊属で、所得者又はその配偶者のいず れかとの同居を常況としている人

【**⑨障害者(特別障害者)**】 所得者本人又はその①の同一生計配偶者や④の扶荼親族で、次のいずれかに該当する人 イ 精神上の障害により事理を弁識する能力を欠く常況にある人・・・・・全て特別障害者になります。

- ロ 精神保健指定医などから知的障害者と判定された人・・・・・このうち、重度の知的障害者と判定された人は、 特別障害者になります。
- ハ 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている人……このうち、障害等級が1級の人は、特別障害者になります。
- ニ 身体障害者手帳に身体上の障害がある者として記載されている人……このうち、障害の程度が1級又は2 級の人は、特別障害者になります。
- ホ 職傷病者手帳の交付を受けている人・・・・・このうち、障害の程度が恩給法別表第1号表ノ2の特別項症から 第三項症までの人は、特別障害者になります。
- へ 原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律の規定による厚生労働大臣の認定を受けている人・・・・・全て特別 障害者になります。
- ト 常に就床を要し、複雑な介護を要する人……全て特別障害者になります。
- チ 精神又は身体に障害のある年齢 65 歳以上の人(昭和 31 年 1 月 1 日以前に生まれた人)で、市町村長や福祉 事務所長などからイ、ロ又はニに準ずる障害があると認定されている人・・・・このうち、イ、ロ又はニの特別 障害者と同程度の障害がある人は、特別障害者になります。

【⑩同居特別障害者】 ①の同一生計配偶者又は④の扶養親族のうち特別障害者で、所得者、その配偶者又は所得者と生計を一にするその他の親族のいずれかとの同居を常況としている人

【⑪寡婦】 所得者本人で、次に掲げる人

- イ 次のいずれかに該当する人で、④の扶養親族又は生計を一にする子(他の人の①の同一生計配偶者又は④の 扶養親族とされている者、令和2年中の所得の見積額が48万円を超える者は除きます。)のある人 (イ)夫と死別した後、婚姻していない人、(ロ)夫と離婚した後、婚姻していない人、(ハ)夫の生死が明ら
- かでない人 ロ 上記イに掲げる人のほか、次のいずれかに該当する人で、令和2年中の所得の見積額が500万円以下(給与 所得だけの場合は、給与の収入金額が6,777,778円以下)の人
- (イ) 夫と死別した後、婚姻していない人、(ロ) 夫の生死が明らかでない人

【**⑫特別の寡婦**】 ⑪の寡婦のうち、④の扶養親族である子を有し、かつ、令和2年中の所得の見積額が500万円以下の人

[⑪寡夫] 所得者本人で、次に掲げる人のうち、⑪のイの生計を一にする子があり、かつ、令和2年中の所得の 見積額が500万円以下の人

だればか300分目を行うが、 (イ) 妻と死別した後、婚姻していない人、(ロ) 妻と離婚した後、婚姻していない人、(ハ) 妻の生死が明らか でない人

【何勤労学生】 所得者本人で、次の全てに該当する人

- イ 大学、高等学校などの学生や生徒、一定の要件を備えた専修学校、各種学校の生徒又は職業訓練法人の行う 認定職業訓練を受ける訓練生であること。
- (注) 専修学校、各種学校の生徒や職業訓練法人の訓練生については、文部科学大臣又は厚生労働大臣の証明 書の写しと学校長又は職業訓練法人の代表者の証明書を添付してください。
- 1 自分の勤労に基づいて得た事業所得、給与所得、退職所得又は雑所得(以下「給与所得等」といいます。)があること。
- ハ 令和2年中の所得の見積額が75万円以下(給与所得だけの場合は、給与の収入金額が130万円以下)であって、 そのうち給与所得等以外の所得が10万円以下であること。

【69単身児童扶養者】 ①のイの生計を一にする子について児童扶養手当の支給を受けている所得者本人で、婚姻 (婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある場合を含む。) をしていない人又は配偶者 (婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。) の生死が明らかでない人